

東証プライム 4631

DIC株式会社

2024年度 決算説明資料

2025年2月

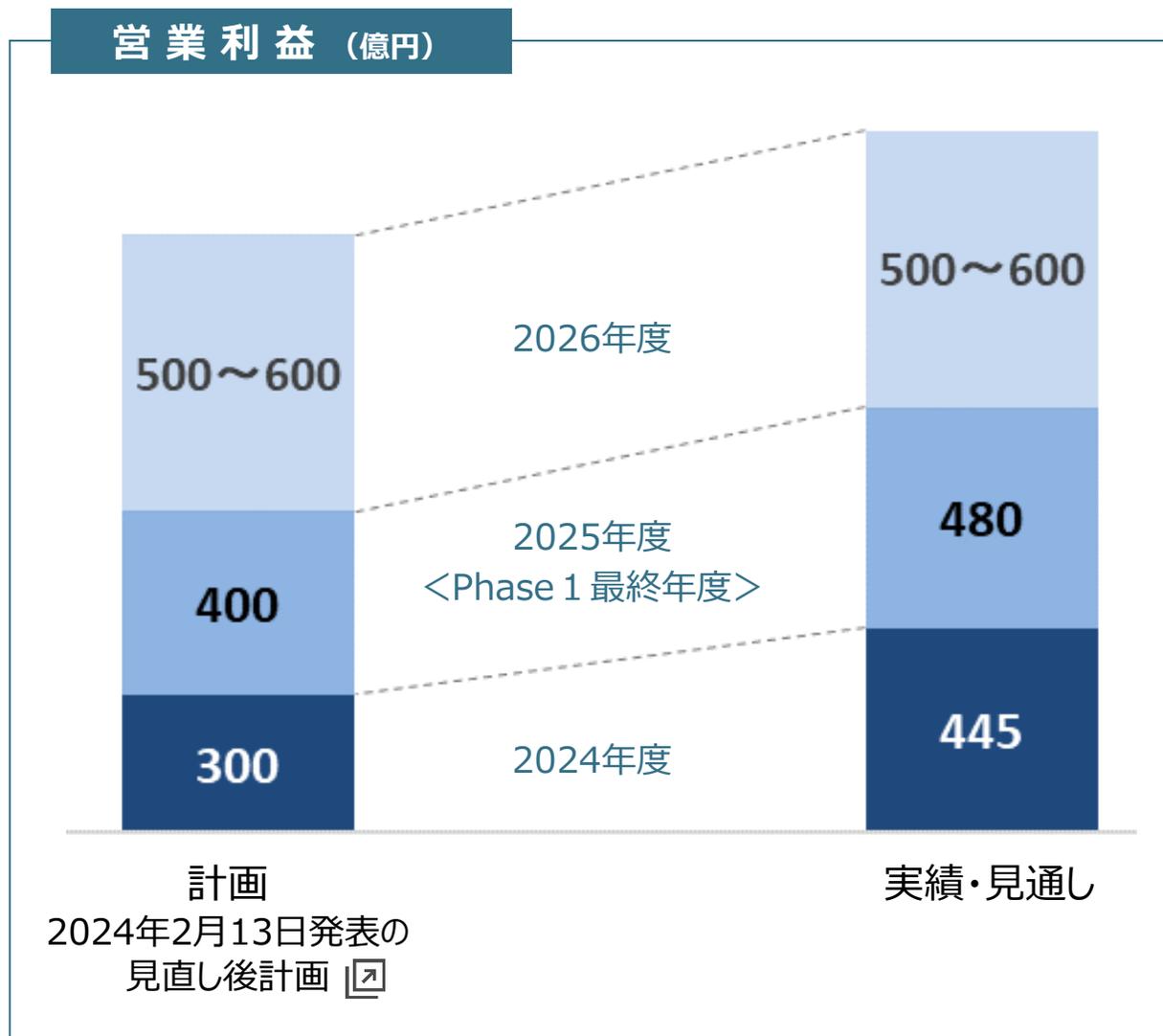


DIC株式会社

ハイライト



長期経営計画「DIC Vision 2030」の進捗



- メリハリのある経営資源の配分や顔料事業の構造改革に取り組んだ結果、業績は回復軌道に入り、2024年度の営業利益は見直し後計画300億円を大幅に上回る445億円となった
- 2025年度見通しは、営業利益480億円とした
- 2026年度最高益（2017年度営業利益565億円）更新に向けて順調に進捗している
- Phase 2 計画値は、2026年2月に公表予定
- 2024年度の年間配当は100円（変更なし）
- 2025年度の年間配当は100円を計画
- キャッシュ・アロケーション方針に基づき、2025年度に100億円程度の追加還元を実施予定

Phase1 :
DIC Vision 2030における「目指す姿の実現に向けた基盤作り」の段階 (22-25年度)

Phase2 :
DIC Vision 2030における「目指す姿の実現と展開」の段階 (26-30年度)

2026年に向けた重点増益策

■ 基盤事業の回復をベースに、スマートリビング領域が成長を牽引

● パッケージ事業 環境対応・高機能製品の拡大（リサイクルポリスチレン他）	5～10億円
● 顔料事業の収益力強化	40億円程度
● 中国・インドを中心としたアジアでのコーティング用ポリマ事業の拡大	10～20億円
● 成長分野 スマートリビング領域の事業拡大 ※	下記の合計 15～30億円
<ul style="list-style-type: none"> ● ケミトロニクス次世代製品群の上市 高速通信対応、次世代レジスト材料、機能性シート他 ● バッテリー関連製品の拡充 液体リチウムイオンバッテリー用材料、全固体電池関連材料等 ● Direct to Society施策による新事業立ち上げ AIデバイス事業（全方位マルチコプター「HAGAMOSphere™（アガモスフィア）」、ロボットハンド） Human Technology Interface（感性素材、センシング素材等） 	5～20億円 5億円 5億円

2025→2026年
増益ポテンシャル
70～100億円

※DIC Vision2030 Phase 2にかけて、M&Aを含め投資を集中、さらなる成長を加速

美術館運営に関する今後の対応

- 2024年8月に提出された価値共創委員会の助言に基づいて取締役会において美術館運営の見直しを検討し、2024年12月に今後の方針を決定した
 - 社会的価値と経済的価値の両面から考えた場合、適切な規模で美術館運営を継続することがブランド価値向上による事業の発展に資するのみならず、社会全体に対する好ましい貢献活動であると結論づけた
 - 適切な移転候補先を見つけることを前提に「**ダウンサイジング & リロケーション**」を最終方針として実行する
 - 自社保有作品数を1/4程度に縮小し、東京都内の美術品が一般公開できる場所に移転する
 - 移転先が確定したあと、新しい美術館のコレクションポリシーに則り保有作品を決定。その結果、対象外となった作品は売却を検討する
 - **2025年に少なくとも100億円程度のキャッシュインを目指す**方針。残りの対象外となった作品は2026年以降段階的に売却する方針
 - 美術品売却によるキャッシュインの用途は、都度、キャッシュ・アロケーション方針に基づいて決定する

今後の予定

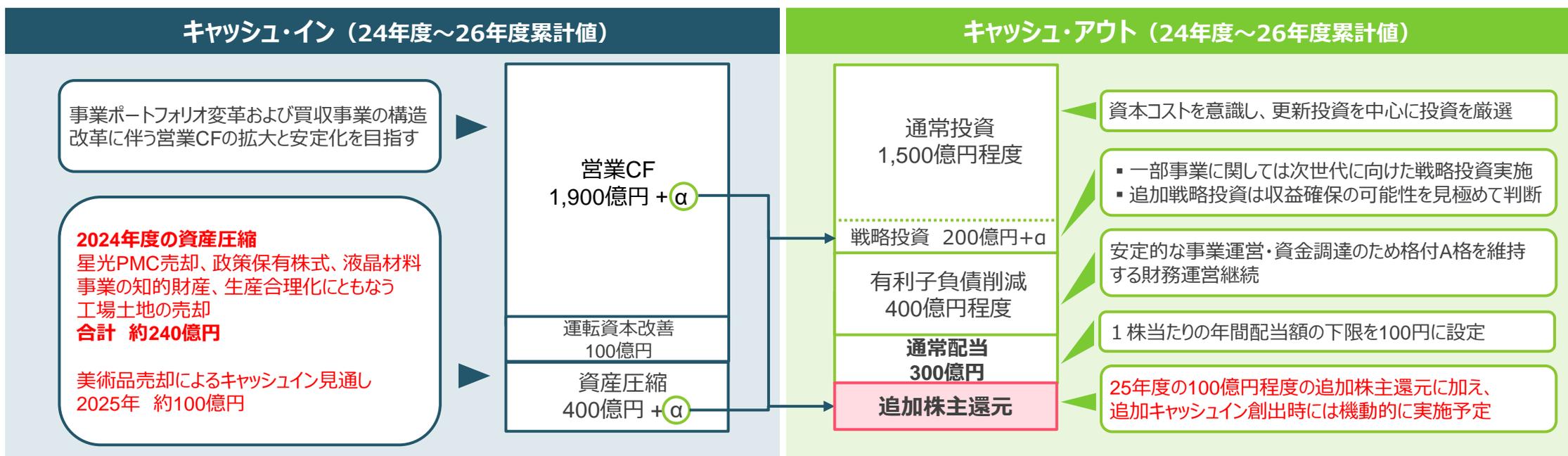
2025年3月末までに東京都内の移転候補先の団体との最終合意と正式発表を目指す

ニュースリリース

2024年12月26日 「美術館運営」見直しの検討結果並びに今後の美術館運営に係る方針についての最終報告 

キャッシュ・アロケーション方針

- 営業CFと通常投資は計画に沿った水準で進捗。資産圧縮により2024年度に約240億円のキャッシュを創出。2025年に見込む美術品売却によるキャッシュイン100億円を含め、2026年までに資産圧縮により400億円 + α を確保できる見通しとなっている
- 現時点では大規模な戦略投資は一巡していること、ネットDEレシオが目標のレンジを維持していることから、2025年度に100億円程度の追加株主還元を実施予定
- 今後も追加キャッシュインを創出した場合は、都度、キャッシュアロケーション方針に沿って用途を決定する



	2024年実績	2026年度目標と考え方	
ROIC	3.8%	4.0~5.0% \geq WACC	構造改革の推進や経営資源配分の見直しによって早期改善を目指す
ROE	5.6%	7.0~8.0% \geq 株主資本コスト	26年度は通過地点として、資本効率の改善を図り企業価値向上を目指す
ネットDEレシオ	1.05倍	1.00~1.10倍	事業構造改革進展により若干のレバレッジは許容も格付A格を維持する財務運営継続

2024年度業績と2025年度見通し



ハイライト

2024年の振り返り

売上高

10,711億円

前年同期比 **+3.1%**

- 星光PMC株式会社の売却等のノンコア事業からの撤退による影響を除くと、7.3%の増収となった
- パッケージ用インキは、海外でインフレ圧力の緩和による消費財需要の戻りに応じて出荷数量が増加した
- 顔料は、需要の本格的な回復は見られないものの、顧客による在庫補充の動きが続き、出荷が増加した
- エレクトロニクスやモビリティに関連する高付加価値製品の出荷が増加した

営業利益

445億円

前年同期比 **+148.1%**

- エレクトロニクスやモビリティに関連する高付加価値製品の出荷数量が増加し、品目構成が改善したことに加え、値下げ圧力があるなか米州や欧州でパッケージ用インキの販売価格維持に努めた結果、大幅な増益
- カラー & ディスプレイは構造改革を進めコスト削減に努めた結果、赤字額が大幅に減少した。撤退した液晶材料事業を除くと、黒字化した

当期純利益

213億円

黒字化

- 液晶材料事業の知的財産譲渡に伴う固定資産売却益や政策保有株式の縮減に伴う投資有価証券売却益の計上などにより、特別利益が増加した一方で、前期に計上した減損損失335億円の影響がなくなったことにより、特別損失が大幅に減少した
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、2023年度399億円の赤字から大幅な改善となる213億円となった

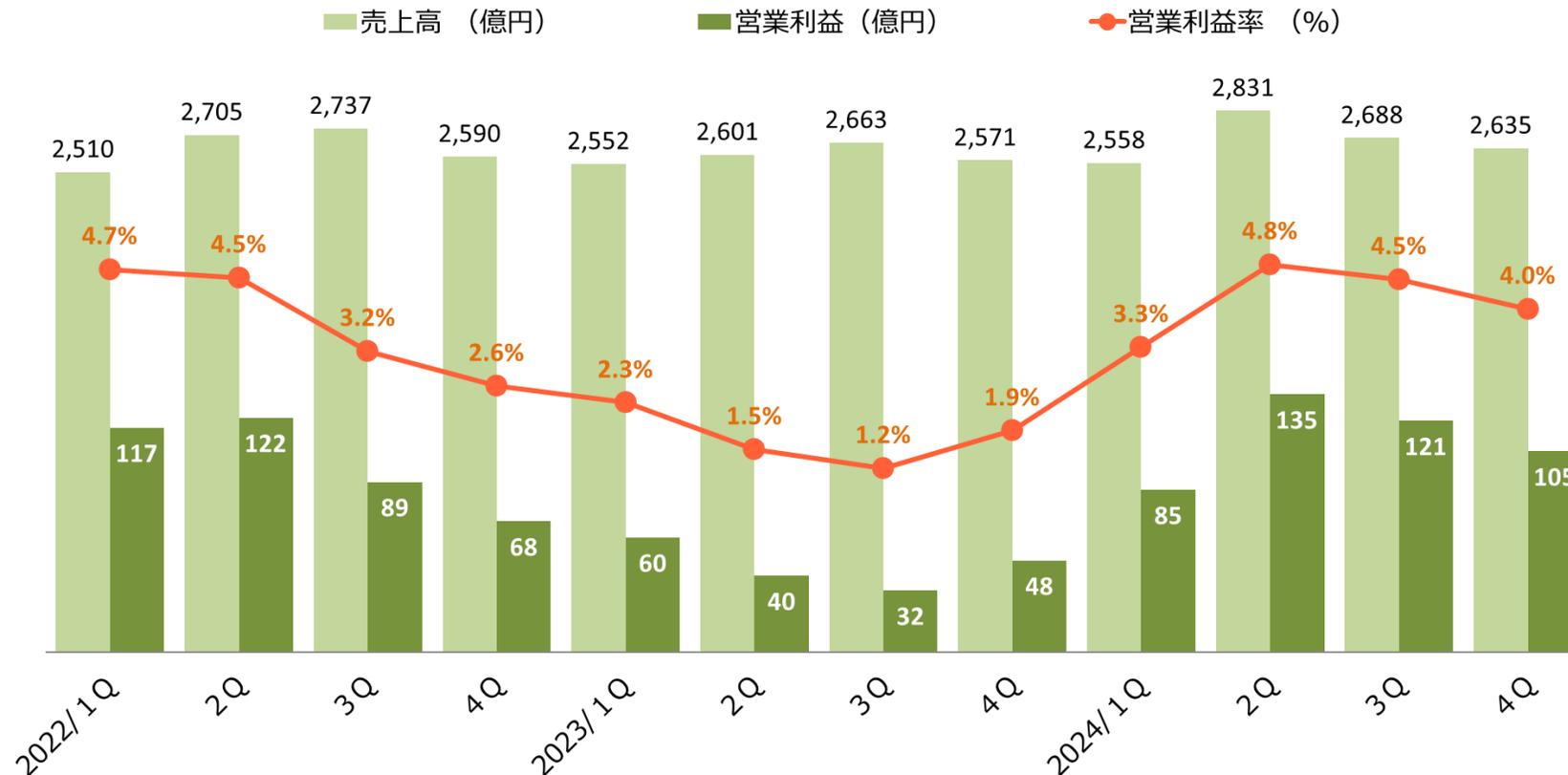
2025年の見通し

増収増益
追加株主還元

- 売上高は1兆1,100億円、営業利益は480億円
- 年間配当100円に加えて、100億円程度の追加株主還元を実施予定

四半期業績推移

- 四半期営業利益は2023年第3四半期を底に改善し、安定的に推移している
- 4Qは季節要因による売上高の減少があったものの、四半期営業利益は100億円台を維持



セグメント別 主要製品の四半期出荷数量の前年同期比推移

パッケージング & グラフィック (パッケージ用インキ、出版用インキ※)

2023年				2024年			
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
△8%	△10%	△8%	△4%	△1%	+2%	+3%	+1%

- 米州・欧州のパッケージ用インキは、インフレ圧力の緩和による消費財需要の戻りにより年間で3%の増加となった
- アジアでは、需要の回復や顧客開拓によりパッケージ用インキは年間で8%の増加となった
- 日本のパッケージ用インキは、物価上昇の影響により消費財の需要が低調に推移したため、年間で2%の減少となった
※新聞インキを含む

カラー & ディスプレイ (顔料製品)

2023年				2024年			
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
△18%	△17%	△11%	△9%	△4%	+15%	+14%	+8%

- 顧客需要の本格的な回復は見られないものの、在庫調整が一巡し、塗料用およびプラスチック用顔料を中心に顧客の在庫補充の動きが続いた
- 顔料製品の出荷数量は、年間では8%の増加となった

ファンクショナルプロダクト (数量をkg単位で計測している製品※)

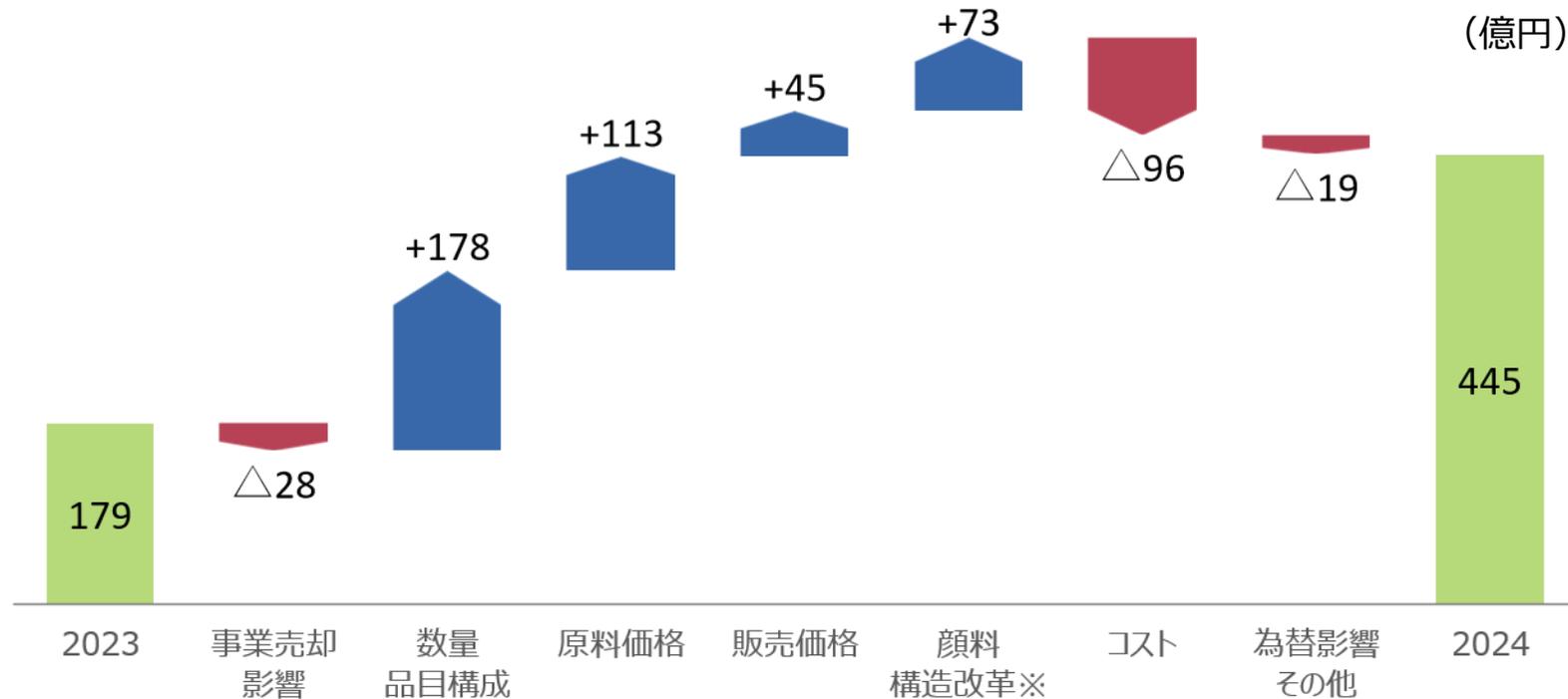
2023年				2024年			
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
△15%	△10%	△4%	0%	△1%	+5%	△3%	+1%

- エポキシ樹脂を中心としたエレクトロニクス関連の製品の出荷が、生成AI等の成長領域の需要にけん引される形で大幅に増加した
- モビリティに関連した製品は、底堅く推移した
- 住宅建設インフラ関連の製品や一般工業用途の製品は、減少した

※P.15記載の主要製品のうち、工業用テープと中空糸膜モジュールは数量がkg単位でないため除外している

営業利益増減要因

- パッケージ用インキ、顔料、エレクトロニクスやモビリティに関連する高付加価値製品の出荷が増加し、数量品目構成が改善
- 原料価格が前年対比で下落傾向にあるなか、海外の印刷インキを中心に販売価格の維持に努め、増益



※顔料構造改革には2023年度ののれん減損によるのれん償却費減少の影響+11を含む

セグメント別業績

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2023	2024	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2023	2024	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2023	2024
パッケージング&グラフィック	5,419	5,698	278	+ 5.1%	+ 2.4%	220	336	116	+ 52.8%	+ 58.7%	4.1%	5.9%
日本	1,240	1,290	51	+ 4.1%	+ 4.1%	46	63	17	+ 37.5%	+ 37.5%	3.7%	4.9%
米州・欧州	3,490	3,670	180	+ 5.2%	+ 2.1%	131	210	79	+ 59.9%	+ 72.1%	3.8%	5.7%
アジア他	825	903	78	+ 9.5%	+ 3.6%	42	65	24	+ 56.5%	+ 48.9%	5.1%	7.2%
連結調整	△ 135	△ 166	△ 31	-	-	1	△ 3	△ 3	-	-	-	-
カラー&ディスプレイ	2,273	2,570	297	+ 13.1%	+ 6.9%	△ 89	△ 3	86	赤字減	赤字減	-	-
日本	320	352	32	+ 9.9%	+ 9.9%	41	56	15	+ 37.8%	+ 37.8%	12.8%	16.0%
海外	2,095	2,363	269	+ 12.8%	+ 5.9%	△ 130	△ 58	72	赤字減	赤字減	-	-
連結調整	△ 142	△ 146	△ 3	-	-	0	△ 1	△ 2	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	3,059	2,863	△ 196	△6.4%	△8.9%	154	210	56	+ 36.0%	+ 31.6%	5.0%	7.3%
日本	2,029	1,817	△ 212	△10.5%	△10.5%	70	113	44	+ 63.2%	+ 63.2%	3.4%	6.2%
海外	1,302	1,379	76	+ 5.9%	△0.2%	85	97	12	+ 14.3%	+ 6.8%	6.5%	7.0%
連結調整	△ 272	△ 332	△ 60	-	-	0	△ 0	△ 0	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 364	△ 419	△ 55	-	-	△ 106	△ 98	8	-	-	-	-
連結合計	10,387	10,711	324	+ 3.1%	△0.1%	179	445	266	+ 148.1%	+ 155.8%	1.7%	4.2%
USD/円	140.51	151.04		+ 7.5%		140.51	151.04		+ 7.5%			
EUR/円	151.98	163.34		+ 7.5%		151.98	163.34		+ 7.5%			

パッケージング&グラフィック

売上高

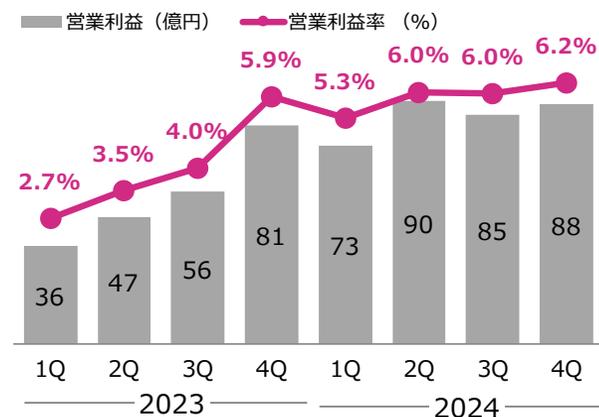
- 日本では物価上昇の影響で消費財の需要が低調となりパッケージ用インキの出荷数量が減少したが、価格対応に努めた結果、増収
- 海外ではパッケージ用インキの出荷が好調に推移し、増収

営業利益

- 日本では高付加価値製品であるジェットインキの出荷数量が増加したことに加え、遅れていた印刷インキのコスト増加分の販売価格への転嫁が進み、増益
- 海外では原料価格が下落局面にあるなか、安定した供給やサービスを通じて販売価格の維持に努めたことにより、増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2023	2024	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2023	2024	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2023	2024
パッケージング&グラフィック	5,419	5,698	278	+ 5.1%	+ 2.4%	220	336	116	+ 52.8%	+ 58.7%	4.1%	5.9%
日本	1,240	1,290	51	+ 4.1%	+ 4.1%	46	63	17	+ 37.5%	+ 37.5%	3.7%	4.9%
米州・欧州	3,490	3,670	180	+ 5.2%	+ 2.1%	131	210	79	+ 59.9%	+ 72.1%	3.8%	5.7%
アジア他	825	903	78	+ 9.5%	+ 3.6%	42	65	24	+ 56.5%	+ 48.9%	5.1%	7.2%
連結調整	△ 135	△ 166	△ 31	-	-	1	△ 3	△ 3	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品名	増減比	説明
パッケージ用インキ*	+ 4%	海外での出荷数量増加により、増収
出版用インキ*	△6%	アジアでは顧客開拓により増収、その他の地域は減収となった
ジェットインキ	+ 30%	顧客の在庫調整が終了し、需要が回復した
ポリスチレン	+ 1%	食品価格の値上がりにより食品包装用の需要が減少したが、価格改定により増収
多層フィルム	△1%	食品価格の値上がりにより食品包装用の需要が減少

*現地通貨ベース増減比

カラー&ディスプレイ

売上高

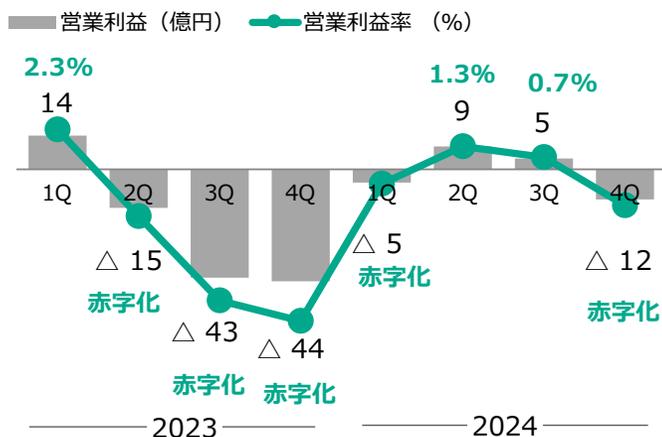
- 在庫調整が一巡し、塗料用およびプラスチック用顔料を中心に顧客の在庫補充の動きが続いたことにより、増収
- 2024年度中の撤退を公表していた液晶材料事業は、予定通り12月で生産を終了した

営業利益

- 出荷数量の増加に加え、構造改革の推進によりコスト削減に努めた結果、赤字額は大幅に減少した
- 撤退する液晶材料事業は、5億円の赤字であった。これを除くと、営業利益は2億円の黒字となった

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2023	2024	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2023	2024	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2023	2024
カラー&ディスプレイ	2,273	2,570	297	+ 13.1%	+ 6.9%	△ 89	△ 3	86	赤字減	赤字減	-	-
日本	320	352	32	+ 9.9%	+ 9.9%	41	56	15	+ 37.8%	+ 37.8%	12.8%	16.0%
海外	2,095	2,363	269	+ 12.8%	+ 5.9%	△ 130	△ 58	72	赤字減	赤字減	-	-
連結調整	△ 142	△ 146	△ 3	-	-	0	△ 1	△ 2	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品	増減比*	説明
顔料 塗料用	+ 8%	顧客需要は本格的に戻っていないが、昨年の在庫調整の反動により増収
プラスチック用	+ 11%	顧客需要は本格的に戻っていないが、昨年の在庫調整の反動により増収
インキ用	+ 7%	パッケージ用インキ向けが好調に推移した
化粧品用	△ 2%	顧客の在庫調整の動きが強まり、減収
ディスプレイ用	+ 5%	パネルメーカーの稼働状況によって出荷の波はあったが、年間を通して底堅く推移
スペシャリティ用	+ 1%	農業向けは在庫調整が続き低調だったが、建築向けが好調に推移し増収

*現地通貨ベース増減比

ファンクショナルプロダクツ

売上高

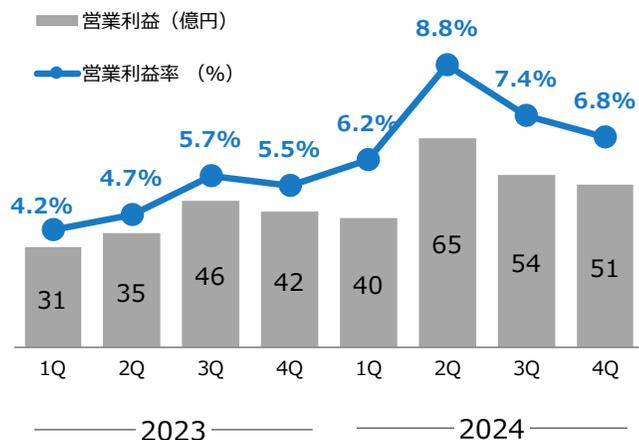
- ・ 星光PMCの売却等の事業撤退の影響を除外した場合の売上高は7.8%の増収となった
- ・ エレクトロニクスやモビリティに関連する高付加価値製品の出荷数量が増加した

営業利益

- ・ エレクトロニクスやモビリティに関連した高付加価値製品の出荷が増加し品目構成が改善したことや、コスト増の価格転嫁を進めたことにより、増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2023	2024	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2023	2024	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2023	2024
ファンクショナルプロダクツ	3,059	2,863	△ 196	△ 6.4%	△ 8.9%	154	210	56	+ 36.0%	+ 31.6%	5.0%	7.3%
日本	2,029	1,817	△ 212	△ 10.5%	△ 10.5%	70	113	44	+ 63.2%	+ 63.2%	3.4%	6.2%
海外	1,302	1,379	76	+ 5.9%	△ 0.2%	85	97	12	+ 14.3%	+ 6.8%	6.5%	7.0%
連結調整	△ 272	△ 332	△ 60	-	-	0	△ 0	△ 0	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品名	増減比
エポキシ樹脂	+ 6%
工業用テープ	+ 38%
UV硬化型樹脂	+ 7%
PPSコンパウンド	+ 6%
アクリル樹脂	0%
ウレタン樹脂	+ 5%
水性樹脂	+ 8%
ポリエステル樹脂	+ 5%
中空糸膜モジュール	+ 19%

エポキシ樹脂は、生成AIサーバー、PC、スマートフォン関連の高付加価値製品の出荷が好調となった。工業用テープは、スマートフォン等のモバイル機器向けの需要を着実に取り込み増収。モビリティ関連の製品は、PPSコンパウンド、水性樹脂、ウレタン樹脂などの出荷が堅調だった。アクリル樹脂は中国における需要の低迷により出荷が伸び悩んだ

ファンクショナルプロダクツ 補足資料

- 星光PMC等の事業撤退影響を補正した場合の業績

(億円)	売上高				営業利益				営業利益率	
	2023	2024	増減	増減比	2023	2024	増減	増減比	2023	2024
ファンクショナルプロダクツ	3,059	2,863	△ 196	△6.4%	154	210	56	+ 36.0%	5.0%	7.3%
撤退した事業	404				28					
補正後 ファンクショナルプロダクツ	2,655	2,863	208	+ 7.8%	127	210	83	+ 65.9%	4.8%	7.3%

- ファンクショナルプロダクツに含まれているケミトロニクス事業本部の業績

(億円)	売上高				営業利益				営業利益率	
	2023	2024	増減	増減比	2023	2024	増減	増減比	2023	2024
ケミトロニクス事業本部	533	610	77	+ 14.4%	60	80	19	+ 31.7%	11.3%	13.0%

主な製品：エポキシ樹脂等のパッケージ基板・プリント基板向けの熱硬化性樹脂、工業用テープ、UV硬化型樹脂、フォトレジスト用樹脂・化合物、界面活性剤

連結損益計算書

(億円)	2023	2024	増減	増減比	現地通貨ベース 増減比
売上高	10,387	10,711	324	+ 3.1%	△0.1%
売上原価	△ 8,524	△ 8,489	34		
販売費及び一般管理費	△ 1,684	△ 1,777	△ 92		
営業利益	179	445	266	+ 148.1%	+ 155.8%
営業利益率	1.7%	4.2%	-		
金融収支	△ 52	△ 50	2		
持分法投資損益	27	33	5		
為替差損益	△ 42	△ 29	13		
その他	△ 21	△ 20	1		
経常利益	92	379	287	+ 311.3%	
特別利益	49	124	75		
特別損失	△ 406	△ 126	279		
税前利益	△ 265	377	641		
法人税等	△ 124	△ 154	△ 30		
当期純利益	△ 389	222	611		
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 10	△ 9	1		
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 399	213	612	黒字化	
EBITDA*	308	957	648	+ 210.3%	

*EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

特別損益の内訳	2023	2024
特別利益		
固定資産売却益	19	70
投資有価証券売却益	27	41
関係会社株式及び出資金売却益	-	13
受取保険金	3	-
特別損失		
関係会社株式及び出資金売却損	-	△ 45
リストラ関連退職損失	△ 43	△ 39
固定資産処分損	△ 26	△ 32
事業撤退損	-	△ 5
製品補償損失引当金繰入額	-	△ 3
減損損失	△ 335	△ 2
事業撤退損失引当金繰入額	△ 2	-

■ 平均レート

	2023	2024
USD/円	140.51	151.04
EUR/円	151.98	163.34

財務体質

(億円)	2023 期末	2024 期末	増減
ネット有利子負債	4,414	4,225	△ 190
自己資本	3,639	4,014	375
ネットD/Eレシオ *1	1.21倍	1.05倍	
自己資本比率	29.2%	32.7%	
1株当たり純資産 (円)	3,844.70	4,239.67	
ROIC *2	1.5%	3.8%	
ROE	△10.6%	5.6%	

*1 ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債／自己資本

*2 ROIC： 営業利益×（1-実効税率28%） / （ネット有利子負債＋純資産）

■ 期末レート

	2023 期末	2024 期末
USD/円	141.32	156.24

2025年度の業績見通し

- 年間配当100円に加えて、100億円程度の追加株主還元を実施予定
- 当期純利益の見通しには美術品の売却による利益は織り込んでいない

(億円)

	2024	2025 見通し	増減比
売上高	10,711	11,100	+ 3.6%
営業利益	445	480	+ 7.8%
営業利益率	4.2%	4.3%	-
経常利益	379	440	+ 16.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	213	240	+ 12.6%
1株当たり純利益 (円)	225.11	253.48	-
EBITDA *1	957	1,020	+ 6.6%
設備投資・投融資	473	492	+ 4.0%
減価償却費・のれん償却額	539	565	+ 4.8%
平均レート			
USD/円	151.04	150.00	△0.7%
EUR/円	163.34	158.00	△3.3%

*1 EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

	2024	2025 見通し
ROIC *2	3.8%	4.2%
ROE	5.6%	6.0%
ネットD/Eレシオ *3	1.05倍	1.03倍
年間配当／株 (円)	100.0	100.0
配当性向	44.4%	39.5%

*2 ROIC：営業利益×(1-実効税率28%) / (ネット有利子負債＋純資産)

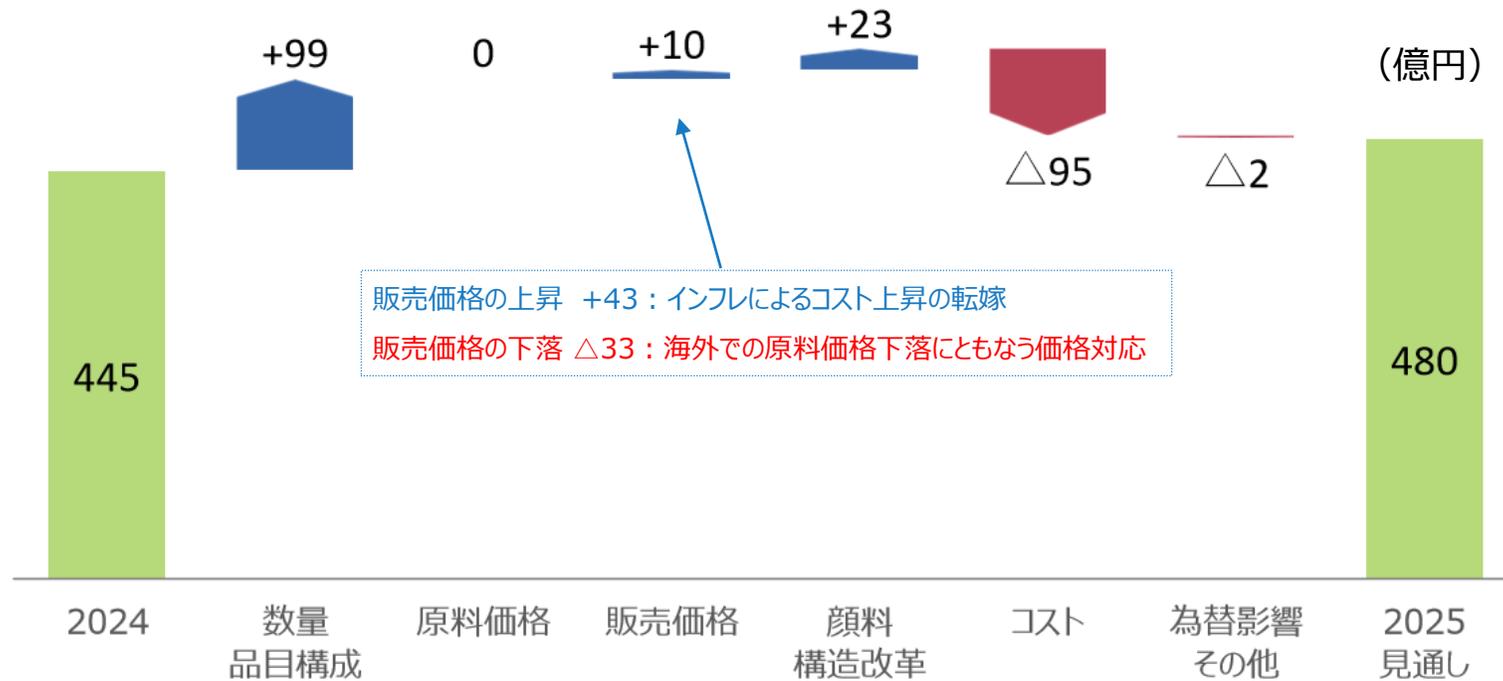
*3 ネットD/Eレシオ：ネット有利子負債／自己資本

2025年度上期の業績見通し

(億円)		2024 2Q	2025 2Q見通し	増減比
売上高		5,388	5,500	+ 2.1%
営業利益		219	230	+ 4.8%
営業利益率		4.1%	4.2%	—
経常利益		200	220	+ 9.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益		64	100	+ 55.9%
1株当たり純利益 (円)		67.77	105.62	—
平均レート	USD/円	152.13	150.00	△1.4%
	EUR/円	164.43	158.00	△3.9%

2025年度：営業利益増減要因

- 米国の政策転換の影響や中国内需の伸び悩み等により、グローバルな景気動向は不透明な状況が継続する見通し
- 欧州における顔料需要は低成長が続くことを前提に、買収シナジーを活かした高機能製品の拡販によりグローバルで販売数量を伸ばす
- 原油価格（WTI）の見通しは、前年と同水準の75～80ドルの前提であるため原料価格の変動は見込んでいない
- パッケージング＆グラフィックでは、海外において値下げ圧力の高まりによる販売価格の値下げを織り込んだ
- インキや顔料では業界再編が進み、競争環境が激化。地域や製品に合わせた価格対応により、適切な利益水準の確保に取り組む



2025年度のセグメント別業績見通し

(億円)	売上高				営業利益				営業利益率	
	2024	2025 見通し	増減	増減比	2024	2025 見通し	増減	増減比	2024	2025 見通し
パッケージング & グラフィック	5,601	5,748	147	+ 2.6%	316	294	△ 23	△7.1%	5.6%	5.1%
日本	1,290	1,314	24	+ 1.8%	61	60	△ 0	△0.7%	4.7%	4.6%
米州・欧州	3,573	3,647	73	+ 2.1%	193	176	△ 17	△8.7%	5.4%	4.8%
アジア他	903	941	38	+ 4.2%	65	57	△ 8	△12.3%	7.2%	6.1%
連結調整	△ 166	△ 154	12	-	△ 3	0	3	-	-	-
カラー & ディスプレイ	2,570	2,731	162	+ 6.3%	△ 3	61	64	黒字化	-	2.2%
日本	352	375	23	+ 6.6%	56	59	2	+ 4.1%	16.0%	15.6%
海外	2,363	2,517	153	+ 6.5%	△ 58	3	60	黒字化	-	0.1%
連結調整	△ 146	△ 161	△ 15	-	△ 1	0	1	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	2,960	3,027	68	+ 2.3%	214	210	△ 5	△2.1%	7.2%	6.9%
日本	1,817	1,827	10	+ 0.6%	101	100	△ 0	△0.3%	5.5%	5.5%
海外	1,475	1,532	57	+ 3.9%	114	109	△ 5	△4.0%	7.7%	7.1%
連結調整	△ 332	△ 332	0	-	△ 0	0	0	-	-	-
その他、全社・消去	△ 419	△ 406	13	-	△ 82	△ 84	△ 2	-	-	-
連結合計	10,711	11,100	389	+ 3.6%	445	480	35	+ 7.8%	4.2%	4.3%
USD/円	151.04	150.00		△0.7%	151.04	150.00		△0.7%		
EUR/円	163.34	158.00		△3.3%	163.34	158.00		△3.3%		

2025年度より「パッケージング & グラフィック」、「ファンクショナルプロダクツ」及び「その他、全社・消去」のセグメント間で、売上高と営業利益の一部についてセグメント区分を変更します。これに伴い、2024年度実績についても変更後の数値に組み替えて記載しています

ファンクショナルプロダクツ 補足資料

- ファンクショナルプロダクツに含まれている**ケミトロニクス事業本部**の業績

(億円)	売上高				営業利益				営業利益率	
	2024	2025 見通し	増減	増減比	2024	2025 見通し	増減	増減比	2024	2025 見通し
ケミトロニクス事業本部	610	645	35	+ 5.7%	76	84	8	+ 10.7%	12.4%	13.0%

- 社内資源を集約し、製品開発を加速させるため、新事業統括本部から一部の技術テーマを事業本部へ移管した。ケミトロニクス事業本部で2026年度営業利益100～110億円を達成するため、早期かつ確実に収益化が見込まれるテーマに経営リソースを集中させる（P.37参照）
- 汎用半導体関連の製品の回復は2025年後半からと見込んでいる。引き続き生成AI関連の需要を取り込み、高付加価値製品の出荷増によりコスト増をカバーし増益の計画

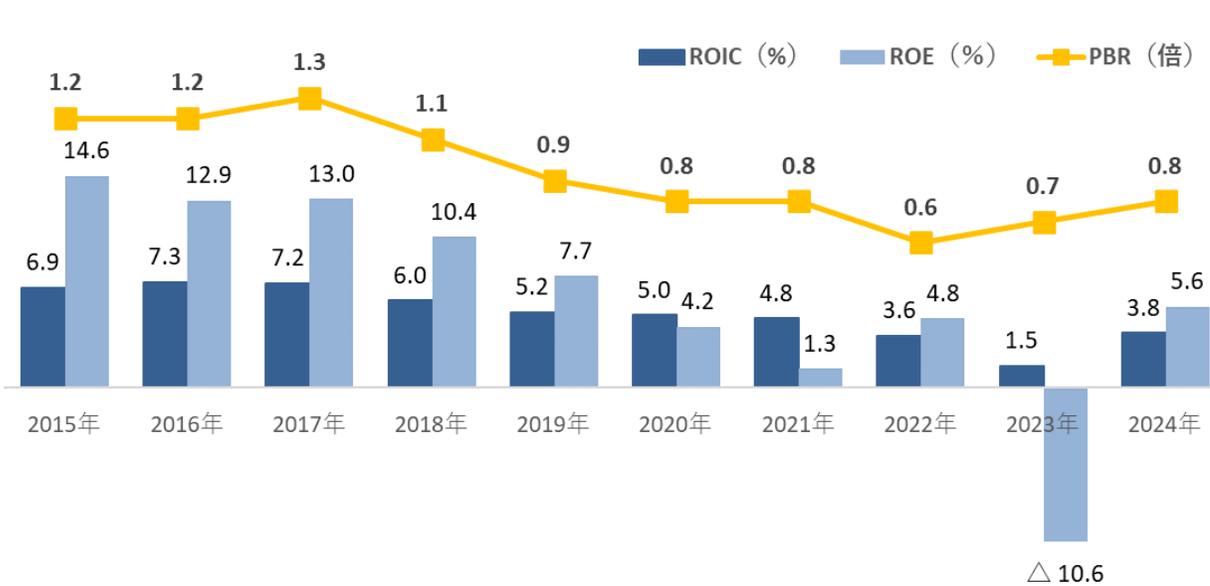
2025年度より「パッケージング & グラフィック」、「ファンクショナルプロダクツ」及び「その他、全社・消去」のセグメント間で、売上高と営業利益の一部についてセグメント区分を変更します。これに伴い、2024年度実績についても変更後の数値に組み替えて記載しています

企業価値向上に向けた取り組み



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

2015~2024年度 PBR、ROIC、ROEの推移



2015~2024年度 株価 (円) の推移

2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
3,300	3,550	4,260	3,370	3,035	2,604	2,896	2,326	2,771.5	3,384

現状分析と改善に向けた方針および目標値

$$\text{PBR } 0.8 \text{ 倍} = \text{ROE } 5.6\% \times \text{PER } 15 \text{ 倍}$$

- 2024年度に大きく株価が上昇したが、PBRは1倍を下回っている
- PERは市場平均（東証プライム市場）と同程度だが、ROEは当社が想定する株主資本コストを下回っている
- 企業価値向上のためには、資本収益性の改善を重要な経営課題であると認識し、選択と集中による資本効率の改善に取り組む

2026年度目標と考え方

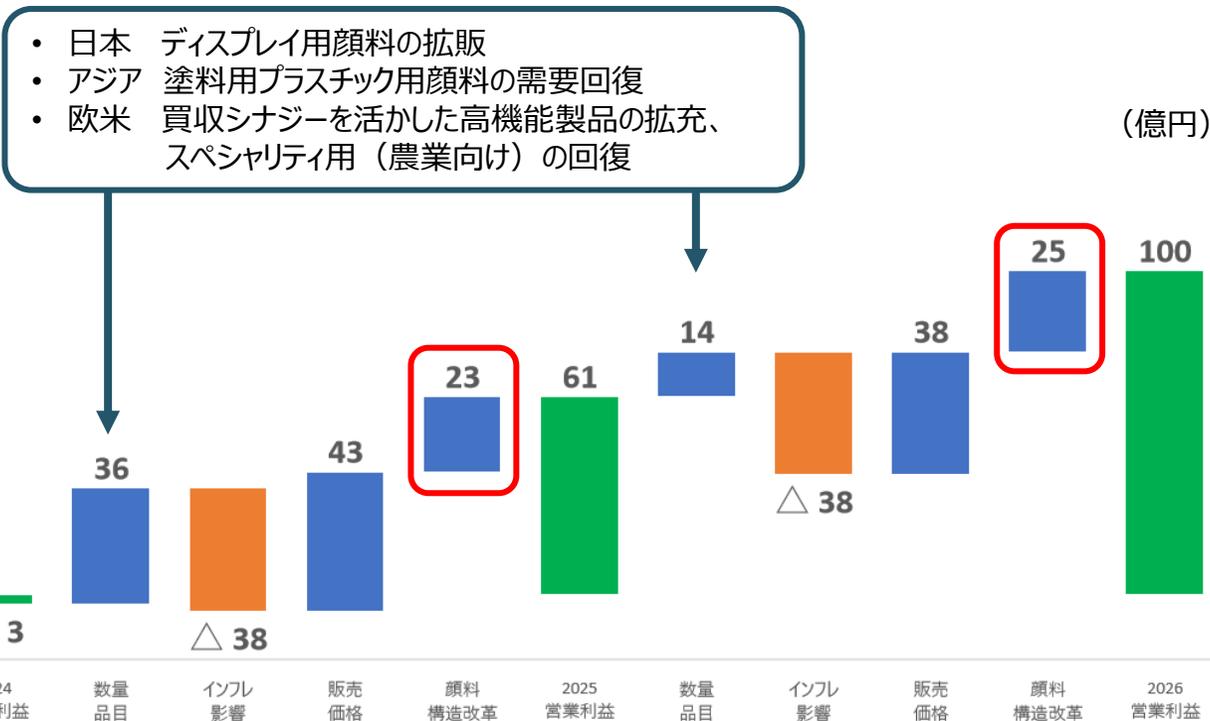
ROIC	4.0~5.0% ≥ WACC	構造改革の推進や経営資源配分の見直しによって早期改善を目指す
ROE	7.0~8.0% ≥ 株主資本コスト	26年度は通過地点として、資本効率の改善を図り企業価値向上を目指す

2024年度のセグメント別ROIC

セグメント	営業利益	ROIC	ROIC-WACCスプレッド拡大のための施策
パッケージング & グラフィック	336億円	8.2%	<ul style="list-style-type: none"> 環境対応・高機能化等、付加価値の高い製品へのシフト 出版インキ事業の構造改革推進、工場跡地等の資産売却による経営資源の有効活用 戦略的価格政策による収益性維持
カラー & ディスプレイ	△3億円	△0.1%	<ul style="list-style-type: none"> 欧米を中心とした生産拠点統廃合・構造改革推進による固定費の抜本的削減継続 買収事業シナジーによる製品の多色展開・高機能化
ファンクショナルプロダクツ	210億円	7.1%	<ul style="list-style-type: none"> ケミトロニクス事業への経営資源集中投入によるエレクトロニクス関連事業の拡大 買収事業シナジーによる製品開発力強化、中国／インドを中心にポリマ事業ドミナント戦略による事業拡大 環境対応等付加価値の高い製品へのシフト ノンコア事業の入れ替え アジアを中心としたコモディティ製品生産拠点統廃合
全社合計	445億円	3.8%	<ul style="list-style-type: none"> 業績の安定化、配当の下限設定による配当金への信頼性向上などの取り組みにより、資本コストの低減を図る

欧米顔料事業の構造改革 - カラー&ディスプレイ -

- 大規模な生産拠点の統廃合、人員合理化をはじめとする構造改革・効率化を推進。構造改革による利益改善効果は、2026年度時点で年間125億円（2022年度比）の計画となり、当初計画年間100億円（2024年2月発表）から25億円を積み増す予定
- インフレによるコスト増は販売価格に転嫁する方針
- 当面の間、欧州における顔料需要は低成長が続くことを前提に、買収シナジーを活かした高機能製品の拡販により、早期にコア事業としての収益力を回復させ、2026年度にカラー & ディスプレイセグメントの営業利益を100億円に改善させる計画



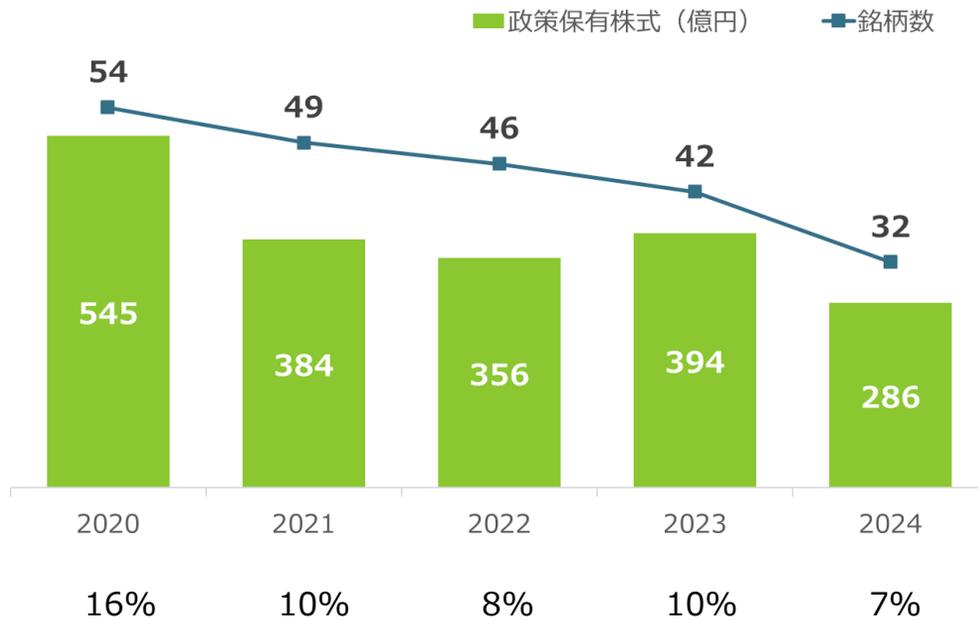
構造改革の進捗

- 計画を超える利益改善効果を実現。2026年以降は構造改革費用は見込んでいない

計画	構造改革費用		効果	
	約160億円 (2023~2026年まで)		100億円超 (2022年度比)	
2023年実績	63億円	+15	15億円	
2024年実績	24億円	+15 +62	77億円	
2025年計画	44億円	+15 +62 +23	100億円	
2026年計画	—	+15 +62 +23 +25	125億円	
見通し	131億円		125億円	
計画との差	費用は 29億円減		効果は 25億円増	

政策保有株式の縮減

- 毎年、取締役会において保有意義を検証し、継続的に縮減に努めている
- 2026年度までに純資産に対する政策保有株式の比率（時価総額）を4%以下とすることを目標に削減に取り組む



- ✓ 2024年度は**10銘柄削減**、108億円分の政策保有株式を削減
- ✓ **売却によるキャッシュイン（直接保有分）は、65億円**
- ✓ 2024年度末における政策保有株式の内訳は、
 - ・ 直接保有株式 54億円（15銘柄）
 - ・ みなし保有株式 232億円（17銘柄）
- ✓ 引き続き、時価総額ベースで比率を4%以下にすることを目標に取り組む

※政策保有株式には、みなし保有株式を含む

※非上場株式は含めていない

参考資料



その他の主なトピックス (2024年11月～2025年1月)

ニュースリリース 2024年
<https://www.dic-global.com/ja/news/2024/> 

ニュースリリース 2025年
<https://www.dic-global.com/ja/news/2025/> 

11月

米国・大型テクノロジー見本市「CES2025」で「CES Innovation Awards® 2025 Honoree」受賞の全方位マルチコプター『HAGAMOSphere™』を世界初公開

12月

DICと日立、合成樹脂製造プラント運転自動化を図るデジタルツイン技術を実用化

12月

大和インバスター・リレーションズ選定の「大和インターネットIR表彰2024」で当社のIRサイトが優秀賞を初受賞

12月

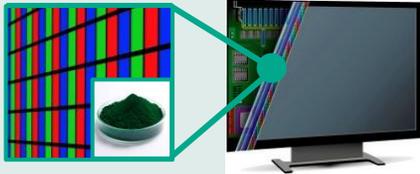
「美術館運営」見直しの検討結果並びに今後の美術館運営に係る方針についての最終報告を発表

1月

世界的なESG投資指標「Dow Jones Sustainability Indices Asia Pacific」(DJSI AP)の構成銘柄に10年連続で採用

事業セグメントと主要製品

2024年度実績数値

	パッケージング&グラフィック	カラー&ディスプレイ	ファンクショナルプロダクツ
提供価値	<p>売上高比率 売上高 営業利益 営業利益率</p> <p>5,698億円 336億円 5.9%</p> <p>包装材料を通じて社会や暮らしに「安全・安心」を提供する</p>	<p>売上高比率 売上高 営業利益 営業利益率</p> <p>2,570億円 △3億円 -</p> <p>表示材料を通じて社会や暮らしに「彩り」を提供する</p>	<p>売上高比率 売上高 営業利益 営業利益率</p> <p>2,863億円 210億円 7.3%</p> <p>機能材料を通じて社会や暮らしに「快適」を提供する</p>
	主要製品	<p>パッケージ用インキ</p>  <p>フィルム インキ 接着剤 フィルム</p> <p>包装材料 ←ポリスチレン ↓多層フィルム</p> <p>接着剤</p>  <p>ジェットインキ</p>  <p>屋外看板用途</p>  <p>バナー用途</p> 	<p>ディスプレイ用顔料</p>  <p>化粧品用顔料</p>  <p>スペシャリティ用顔料</p> <p>農業用途</p>  <p>建材用途</p>  <p>塗料用顔料</p> <p>プラスチック用顔料</p> <p>インキ用顔料</p> 

セグメント別四半期業績推移 (参考)

(億円)	売上高								営業利益							
	2023 1Q	2023 2Q	2023 3Q	2023 4Q	2024 1Q	2024 2Q	2024 3Q	2024 4Q	2023 1Q	2023 2Q	2023 3Q	2023 4Q	2024 1Q	2024 2Q	2024 3Q	2024 4Q
パッケージング & グラフィック	1,315	1,350	1,384	1,369	1,374	1,490	1,419	1,414	36	47	56	81	73	90	85	88
日本	304	311	303	322	297	335	322	337	5	12	12	17	15	22	15	12
米州・欧州	862	873	891	864	904	966	913	886	26	29	27	49	46	53	54	57
アジア他	190	199	219	217	212	231	226	234	7	7	14	14	14	16	16	20
連結調整	△ 40	△ 33	△ 29	△ 33	△ 39	△ 42	△ 42	△ 43	△ 1	△ 1	2	1	△ 2	△ 1	1	△ 1
カラー & ディスプレイ	605	574	577	517	635	708	651	576	14	△ 15	△ 43	△ 44	△ 5	9	5	△ 12
日本	81	83	79	77	74	95	96	86	10	14	10	7	10	17	15	14
海外	555	533	536	471	595	655	597	517	4	△ 29	△ 53	△ 51	△ 14	△ 8	△ 11	△ 25
連結調整	△ 31	△ 42	△ 38	△ 31	△ 35	△ 42	△ 42	△ 27	0	0	△ 0	0	△ 1	△ 0	1	△ 1
ファンクショナルプロダクト	734	759	794	772	651	740	725	746	31	35	46	42	40	65	54	51
日本	500	508	506	515	417	461	455	484	11	13	21	24	24	39	28	23
海外	298	319	357	329	310	366	359	343	19	21	26	19	17	26	26	28
連結調整	△ 64	△ 68	△ 69	△ 72	△ 76	△ 88	△ 88	△ 81	0	1	△ 1	△ 0	△ 0	△ 0	0	0
その他、全社・消去	△ 102	△ 83	△ 92	△ 87	△ 102	△ 107	△ 108	△ 102	△ 21	△ 27	△ 27	△ 31	△ 24	△ 29	△ 22	△ 23
連結合計	2,552	2,601	2,663	2,571	2,558	2,831	2,688	2,635	60	40	32	48	85	135	121	105

連結貸借対照表 (参考)

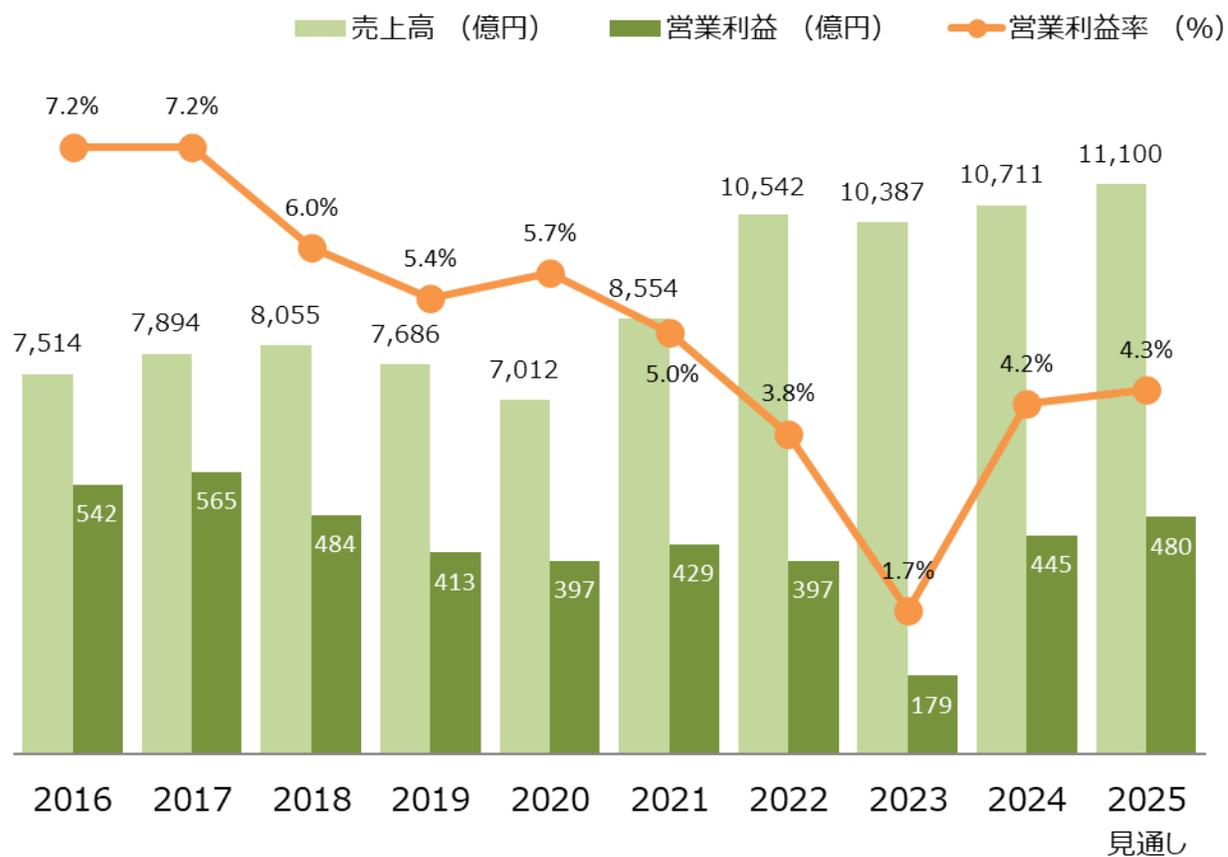
(億円)	2023 期末	2024 期末	増 減
流動資産	6,202	6,075	△ 127
有形固定資産	3,739	3,641	△ 98
無形固定資産	689	675	△ 14
投資その他の資産	1,819	1,873	54
資産合計	12,449	12,264	△ 185
流動負債	3,487	3,331	△ 157
固定負債	4,969	4,727	△ 241
負債合計	8,456	8,058	△ 398
株主資本	3,625	3,763	138
その他の包括利益累計額	14	251	237
(為替換算調整勘定)	(126)	(346)	(220)
非支配株主持分	353	192	△ 161
純資産合計	3,993	4,206	213
負債純資産合計	12,449	12,264	△ 185
有利子負債残高	5,290	4,843	△ 446
現預金残高	875	619	△ 257
ネット有利子負債	4,414	4,225	△ 190

連結キャッシュ・フロー計算書（参考）

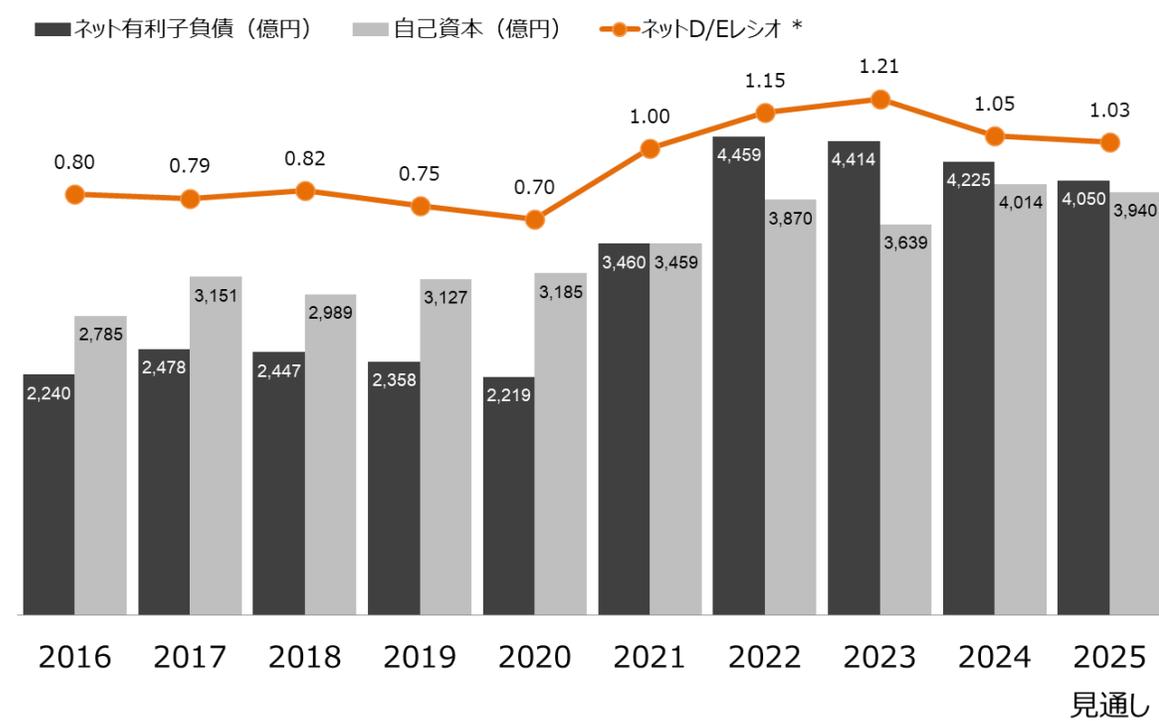
(億円)	2023	2024	増 減
営業キャッシュ・フロー	891	462	△ 429
投資キャッシュ・フロー	△ 665	△ 171	494
財務キャッシュ・フロー	△ 29	△ 626	△ 597
現金及び現金同等物の期末残高	846	609	△ 237
フリーキャッシュ・フロー	226	291	65
運転資本の増減額	671	△ 208	△ 879
設備投資・投融資	733	473	△ 259
減価償却費・のれん償却額	531	539	8

業績の推移 (参考)

業績



財務体質

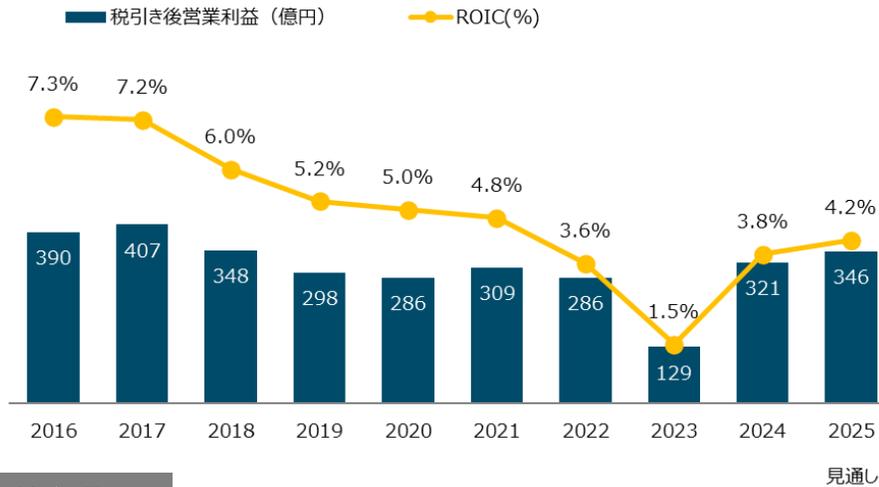


* ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債 / 自己資本

業績の推移 (参考)

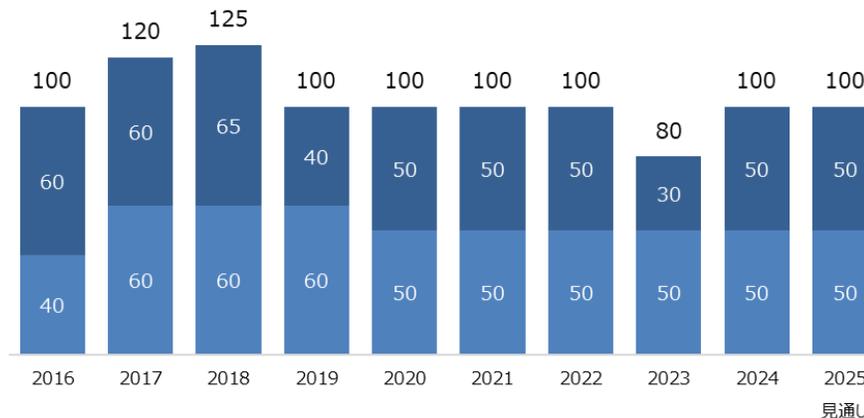
ROIC*

* ROIC : 営業利益 × (1 - 実効税率28%) / (ネット有利子負債 + 純資産)



株主還元*

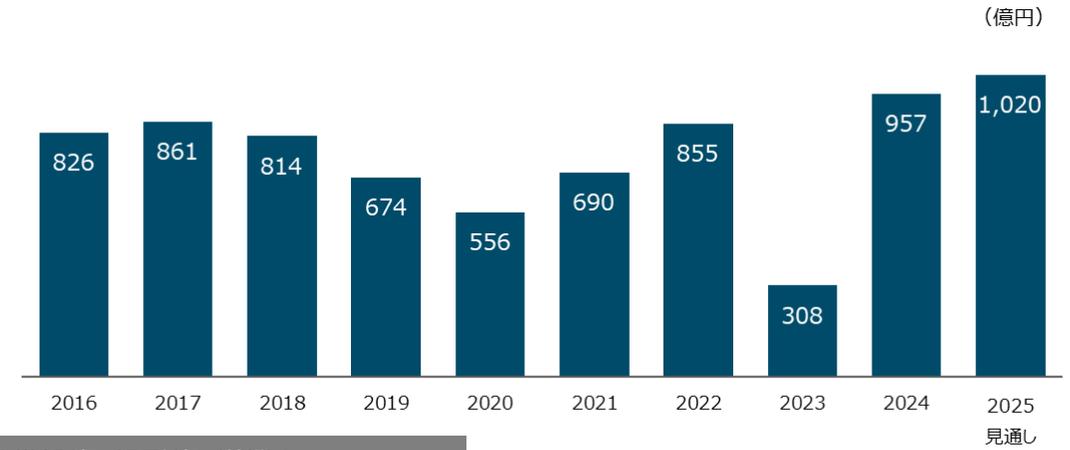
■ 中間 (円) ■ 期末 (円)



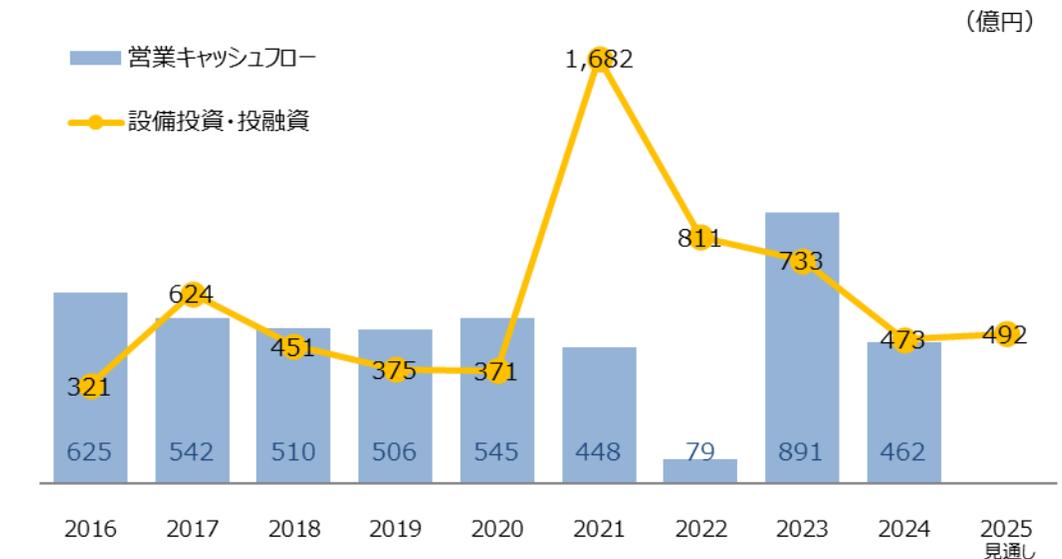
配当性向 27.3% 29.4% 36.9% 40.3% 71.5% 216.8% 53.7% - 44.4% 39.5%

EBITDA*

* EBITDA : 親会社株主に帰属する当期純利益 + 法人税等合計 + 支払利息 - 受取利息 + 減価償却費 + のれん償却額



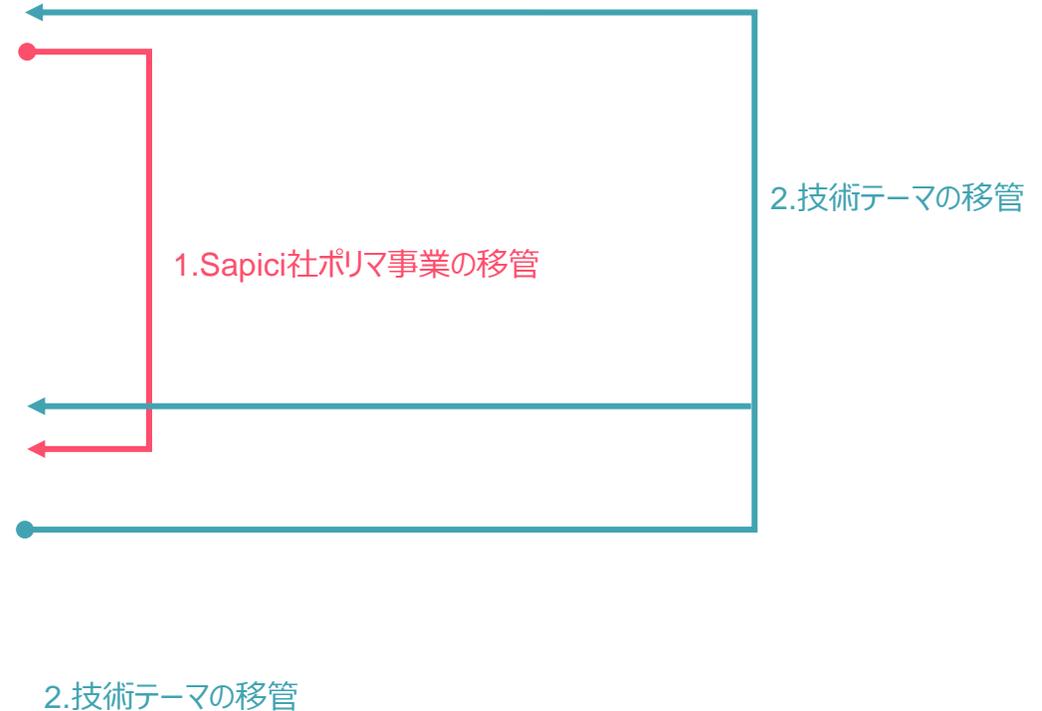
設備投資・投融資・営業キャッシュフロー



2025年度以降の一部開示変更について

1. 従来、パッケージング&グラフィック米州・欧州に含めていた接着剤・ポリマメーカーである子会社Sapici社のポリマ事業を2025年度からファンクショナルプロダクツ海外へ移管した。接着剤事業はこれまで通りパッケージング&グラフィックに含める
2. 一部の技術テーマを「その他、全社・消去」内の新事業統括本部から製品本部および事業本部へ移管した
3. 本説明資料では特に記載がない場合は変更前の2024年実績を表示しているが、変更後の2024年実績を記載しているページにはその旨を記載している

(億円)	売上高			営業利益		
	2024 変更前	変更額	2024 変更後	2024 変更前	変更額	2024 変更後
パッケージング&グラフィック	5,698	△ 97	5,601	336	△ 19	316
日本	1,290		1,290	63	△ 3	61
米州・欧州	3,670	△ 97	3,573	210	△ 17	193
アジア他	903		903	65		65
連結調整	△ 166		△ 166	△ 3		△ 3
カラー & ディスプレイ	2,570		2,570	△ 3		△ 3
日本	352		352	56		56
海外	2,363		2,363	△ 58		△ 58
連結調整	△ 146		△ 146	△ 1		△ 1
ファンクショナルプロダクツ	2,863	97	2,960	210	4	214
日本	1,817		1,817	113	△ 13	101
海外	1,379	97	1,475	97	17	114
連結調整	△ 332		△ 332	△ 0		△ 0
その他、全社・消去	△ 419		△ 419	△ 98	15	△ 82
連結合計	10,711	0	10,711	445	0	445
ファンクショナルプロダクツに含まれているケミトロニクス事業本部						
ケミトロニクス事業本部	610	0	610	80	△ 4	76



本資料の前提について

【為替レート】	2023				2024				2025前提
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
USD/円 平均レート	133.02	135.88	138.81	140.51	147.58	152.13	150.43	151.04	150.00
USD/円 期末レート	132.98	144.68	149.17	141.32	151.36	160.95	141.71	156.24	145.00

【原料】	2023				2024				2025前提
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	通期
原油 (WTI) ドル/バレル	76.10	73.80	82.30	78.30	77.00	80.60	75.10	70.30	75.00-80.00
国産ナフサ 円/kl	66,500	67,500	63,600	72,800	72,500	79,000	76,900	73,000	75,000-80,000

【決算期】

当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。当期は、2024年1月1日から12月31日までの12ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

<予想に関する注意事項>

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。
業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、
実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。
ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、
当社は責任を負うものではありません。



Color & Comfort



DIC Corporation